



## 社会貢献イベント 第11回「ことばの力を楽しむ会」東京公演を開催しました

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田賢二）は、1月25日、社会貢献活動 朗読と音楽の会「ことばの力を楽しむ会」を王子ホール（東京都中央区）において開催いたしました。

「ことばの力を楽しむ会」は、東日本大震災の被災地の方々の生きる力を応援することを目的に当社主催のもと2014年より開始しました。震災を忘れないという思いと、あらゆる世代のことばの感性を育てたいという願いと共に全国で継続開催しています（当開催で11回目。2013年度：青森県八戸市、2014年度：宮城県仙台市、2015年度：東京都中央区、2016年度：石川県金沢市と東京都中央区、2017年度：福岡県福岡市と東京都千代田区、2018年度：北海道札幌市、東京都中央区、2019年度広島市、東京都中央区）。今回は302名のお客様にご観覧頂きました。

第11回目のテーマは「恋、愛 心の機微を読む」。出演は第1回目からご出演されており、現在は当社社外取締役でもある山根基世さん、第2回目からご出演の進藤晶子さん。ゲストには劇作家・演出家の鴻上尚史さんをお迎えし、自身の著作「ロミオとロザライン」を朗読していただきました。音楽はピアノ（飯田俊明さん）、ヴァイオリン（高木弾さん）、チェロ（冨田千晴さん）でこころをつなぐ読み語りを叙情深く演出して頂きました。また、出演者が万葉集の中から恋愛にちなんだ一首を選び、飯田さんが朗読にあわせてピアノの即興演奏を行うなど趣向を凝らした楽しいイベントとなりました。

※ 開催概要（朗読作品、出演者プロフィール等）につきましては、別紙のプログラムをご参照ください。

会場では東日本大震災被災者支援のための任意募金へのご協力を呼び掛け87,883円が集まりました。この募金はすべて「東日本大震災ふくしま子ども寄附金（福島県）」に1月27日に送金させていただきました。ご協力いただいた皆様どうも有り難うございました。

当社は今後も多様な価値を創造する事業活動ならびに「ことばの力を楽しむ会」等の社会貢献イベントを通じて、皆さまのより豊かな生活の実現と社会の持続的発展への寄与に努めてまいります。

次回は2020年9月26日（土）大阪での公演を予定しています。

ご観覧者募集のご案内は詳細決定次第当社ホームページに掲載させていただきます。



第 11 回目となることばの力を楽しむ会



300名を超えるお客様にご来場頂きました



進藤晶子さん朗読作品「桃子」  
(江國香織著「江國香織童話集」より)



鴻上尚史さん朗読作品「ロミオとロザライン」  
(鴻上尚史著「ジュリエットのいない夜」より)



恋愛について語りました



山根基世さん朗読作品「大根の月」  
(向田邦子「思い出トランプ」より)



左から飯田俊明さん、高木弾さん、富田千晴さん



万葉集の恋愛歌朗読とピアノのコラボレーション



ご出演いただいたみなさま



ふくしまこども寄附金へのご協力有難うございました

【本件に関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 社会貢献・総務課 TEL 03-4233-8015

朗読と音楽の会

# ことばの力を 楽しむ会

恋、愛  
心の機微を読む

2020年  
1月25日(土)  
14:00~16:00 (開場13:30)  
王子ホール

主催: 伊藤忠エネクス株式会社

プログラム 開場13:30/開演14:00

第1部 60分 (14:00~15:00)

進藤晶子「桃子」

鴻上尚史「ロミオとロザライン」

(休憩)

第2部 45分 (15:15~16:00)

朗読と音楽のコラボレーション「万葉集」より

山根基世「大根の月」

終演 16:00 (予定)

## 朗読作品紹介

### 「桃子」

江國香織『江國香織童話集』(理論社)より

両親を事故で亡くし、伯母夫婦が引き取りにくるまで寺で過ごすことになった7歳の桃子。19歳の修行僧・天隆がその世話を命じられる。桃子はすぐに天隆に懐き、一緒に遊ぶようになるが、いつしか二人の関係は親密なものへと変わっていった… 大好きな人と、ずっといたい。せつなく、孤独な二人の恋の物語。

### 「ロミオとロザライン」

鴻上尚史『ジュリエットのいない夜』(集英社)より

傾きかけた劇団を主宰する海藤は、自ら書き下ろした戯曲「ロミオとロザライン」に起死回生をかけている。原作「ロミオとジュリエット」の冒頭で、ロミオがジュリエットに出会う直前までロザラインという女性に恋していたことに着目。その恋愛物語を創作し確かな手応えを感じているのだ。しかし、海藤の妻でロザライン役を務める女優の美香子は、演じてすぐに物語に違和感があると主張した。そこには、海藤も気付かなかった感情が反映されていたことが、次第に明らかになっていく…

今回の朗読では、「ロミオとロザライン」冒頭の4章を朗読します。

### 「大根の月」

向田邦子『思い出トランプ』(新潮文庫)より

夫と別居している英子は「指」という字に怯えていた。不慮の事故で、息子に取り返しのない怪我をさせてしまったつらい過去を抱えているのだ。事故後、同居している姑と険悪に。さらに、夫や息子ともぎこちない関係になり孤立せざるをえなくなる。自分ではどうすることもできず、家族との関係もこれで終わるかと思い始めた矢先、英子がまったく予想しなかった展開が訪れる。

出演者



元NHKアナウンサー  
山根基世  
(朗読)



元TBSアナウンサー  
進藤晶子  
(司会・朗読)



劇作家・演出家  
鴻上尚史  
(朗読)

1948年、山口県生まれ。71年、早稲田大学文学部卒。同年、NHK入局。報道、美術、旅番組など多数の番組、NHKスペシャル「人体」「映像の世紀」等、大型シリーズのナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。07年、NHK退職。00年、放送文化基金賞受賞。15年度より、公益社団法人文字・活字文化推進機構にて「山根基世の朗読指導者養成講座」開講。「山根基世の朗読読本」『こころの声を「聴く力」』他、著書多数。FM TOKYO「感じて、漢字の世界」毎週土曜日JFN全国38局ネットで放送中。TBS日曜劇場「半沢直樹」ナレーション担当。

1994年TBS入社。「筑紫哲也 News23」「ニュースの森」などを担当する。2001年3月TBS退社。1年弱のニューヨーク滞在を経てフリーとなる。その後、司会、執筆、朗読の他、各界のトップランナー数百人に取材するなどインタビュー者としても活躍。10年3月慶應義塾大学院メディアデザイン研究科・修士課程修了。15年3月「山根基世の朗読指導者養成講座」(主催:文字・活字文化推進機構)第一期修了。以降、同講座でアシスタント講師を務める。16年オーチャードホールにて「映像の世紀コンサート」ナレーションを担当。18年サントリーホールで朗読コンサートを初プロデュースする。

愛媛県生まれ。早稲田大学文学部出身。1981年に劇団「第三舞台」を結成し、以降、作・演出を手がける。現在はプロデュースユニット「KOKAMI@network」と若手俳優を集め旗揚げした「虚構の劇団」での作・演出が活動の中心。これまで紀伊國屋演劇賞、岸田國士戯曲賞、読売文学賞など受賞。舞台公演の他には、エッセイスト、小説家、テレビ番組司会、ラジオパーソナリティ、映画監督など幅広く活動。また、俳優育成のためのワークショップや講義も精力的に行うほか、表現、演技、演出などに関する書籍を多数発表している。桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授。



飯田俊明  
(ピアノ・作編曲)



高木 弾  
(ヴァイオリン)



富田千晴  
(チェロ)

クラシカルクロスオーバーを軸に、多彩なジャンルで活動を行なうピアニスト、作曲家。武蔵野音楽大学大学院修了。PTNAコンペティションDuo特級最優秀賞受賞。その後、池田直樹、岡本知高、平原綾香や、劇団四季、宝塚歌劇団、オカリナのホンヤミカコ、タンゴの喜多直毅、ジャズの北浪良佳、環境音楽の小久保隆など多彩なジャンルのアーティストを演奏・作編曲でサポート。最近の作品には、NHK高知発地域ドラマ「ダルマさんが笑った」主題歌作編曲、安藤美姫のアイスショー音楽アレンジ、ゲームAMNESIA音楽フルオーケストラアレンジ、春野寿美礼「ニュース」アルバムアレンジ、NHKドラマ「クルロード」アレンジなどがある。

早稲田大学卒業。6歳よりヴァイオリンを始める。ジュリアード音楽院フレグレッジオにてヴァイオリンを田中直子氏に師事。キース・ロックハート、エリック・クンゼ、ネイプルス・フィル、シモン・ポリバー・シンフォニー等と共演。サウスウエストフロリダ・ヤングアーティストコンクール最優秀賞、ニューヨーク日系人会音楽賞特別賞を受賞。カーネギーホール、リンカーンセンター・アリスタリーホールでの演奏会等に多数出演。サイトウキネン室内楽勉強会、アスペン音楽祭に参加。米国CBSテレビ「マー・サ・スチュアート・リビング」等に出演。現在クラシックに限らず様々なジャンルで演奏活動を行っている。

山口県宇部市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。デザインK国際音楽アンリミテッドコンクール全部門中グラプリ受賞、横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門第一位、他受賞歴多数。城田優初演作品ミュージカル「アップル・ツリー」にてメインチェロに抜擢。『Before After』、『SHE LOVES ME』、『LAST FIVE YEARS』、『A CLASS ACT』、『宝塚「エリザベット」演奏。また、秦基博、絢香、山崎育三郎等、様々なアーティストのライブサポートやレコーディング、ツアー、TV番組に出演。ゲーム音楽のレコーディング、ジャズライブ出演の他、後進の指導にも当たる。

※この印刷物は石灰石を原料とするLIMEX素材から出来ており、地球の水・森林資源負荷低減に貢献しています

# 次世代育成と地域への貢献 こころをつなぐ 読み語り

「ことばの力を楽しむ会」では毎回、ことばの表現者と音楽アーティストたちをゲストにお招きしています。

2014年  
八戸

森のおとぎ会



八戸で90年以上続いている朗読会「森のおとぎ会」。大正時代に起きた大火からの復興で大人は子どもの相手をしてやれなかったが、これではいけないと、寺の境内で朗読会を開くようになった。この「森のおとぎ会」に通う小学生が、八戸で代々語り継がれる昔コ(昔話)を、南部の方言で披露しました。

図書館で毎週、絵本の読み語りをしている「やまがっこう」代表の鶴飼信好さん。文字が「る」以外ほとんど出でこない「るるるるる」、「ん」以外はまったく出でこない「んんんんん」を、表現豊かに読み会場を沸かせました。

読み語り塾「やまがっこう」



2014年  
仙台



2016年  
東京

東京に避難している福島県の方々へ思いを込め、代表作である詩「決意」や「木にたすねよ」を朗読。さらに東北の鎮魂と再生を祈る創作神楽のパフォーマンスを演じました。

詩人 和合亮一さん



語り部 紺野雅子さん



子どもたちから「雅子バツパ」と慕われる福島県二本松市の語り部、紺野雅子さん。100人以上のお年寄りから口述で伝え聞いた昔話を、東京に避難している子どもたちに思いを込めて語りました。

石川県で絵本の朗読や人形劇に取り組む「にぎょうげきやさん」こと鳥毛こずえさん。幻想的な影絵を、地元の子どものための詩の朗読、音楽家の演奏とともに披露しました。

にぎょうげきやさん



2016年  
金沢

2019年1月の東京公演では、広島市在住の詩人アーサー・ピナードさんが、中原中也賞を受賞した『釣り上げては』などの詩を朗読。同年9月の広島公演では、『原爆の図』に描かれた絵から制作した紙芝居「ちっちゃいこえ」、そして、被爆したモノたちが語りかける写真絵本「さがしています」を朗読。命の大切さと歴史を伝える重要性を語りました。



2019年  
東京・広島

詩人 アーサー・ピナードさん

小説・エッセイの朗読会では音楽家 飯田俊明さん作曲によるオリジナル楽曲が、様々な作品の世界を彩っています。



ピアノ 飯田俊明さん チェロ 富田千晴さん ヴァイオリン 高木 弾さん

2017年  
東京

元NHKアナウンサー 松平定知さん



2017年からは、小説やエッセイの「ことばの力を楽しむ会」もスタートしました。初回はゲストに元NHKアナウンサーの松平定知さんをお迎えし、藤沢周平の代表作「蝉しぐれ」を朗読頂きました。

絵本作家よしながこうたくさんをゲストに迎え、ライブペインティングのワークショップを実施。頭に載せているのは、こうたくさんの「相棒」、自作の被りものです。大迫力の大盛り上がりでした。音楽で楽しませてくれたのはギタリストpepe伊藤さんの演奏です。ナレーター野口ジュンさんと一緒に奏でた、字のない絵本「ぞうのボタン」のユニークな「音楽朗読」に、笑いが絶えない朗読会となりました。

絵本作家 よしながこうたくさん

2017年  
福岡



2018年  
東京

ジャズサクソ奏者 坂田明さん



当代随一のジャズサクソ奏者、坂田明さんをゲストに迎えた2018年の東京公演。朗読をするのは初めてという坂田さんの素朴で味わい深い声、そして、山根基世さんの朗読とサクソの競演「赤とんぼ」での静かで激しい即興演奏が心の奥深くに届く朗読会となりました。

歌手 酒井美直さん

2018年  
札幌



開催直前に北海道胆振東部地震が発生し、こんな時こそ「ことばの力」を!と開催した札幌公演に多くのお客様にお集まり頂きました。ゲストに迎えたのはアイヌルーツを持つ歌手の酒井美直さん。朗読ではアイヌ神謡を披露、山根基世さんとのトークでは、アイヌ文化や踊りを紹介。伝統を大切にしながらも、ルーツにとらわれず一人のひととして生きることの大切さを語りました。